


たが

こんにちは 
議会です!!



楽しいおはなしを聞いています…ささゆり保育園児

- ・ 3月定例会 2P
- ・ 予算特別委員会報告 4P
- ・ 各常任委員会報告 5P
- ・ 臨時会 8P
- ・ 一般質問 4議員が問う 9P
- ・ がんばってます 12P

第109号

平成18年5月10日発行
発行責任者 議長 安藤 直毅
編集 広報発行対策特別委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
〒522-0341 ☎ 0749 (48) 8126
FAX 0749 (48) 0157
有線 2-2011

ホームページ <http://www.tagatown.jp>
E-mail gikai@tagatown.jp

平成18年度

33億7,800万円

予算

昨年度対比(11.1%減) 4億2,000万円減額

3月定例会

9日~23日

三月定例会は、三月九日から二三日までの一五日会期で開かれ、平成一八年度一般会計ならびに特別会計などの議案は原案どおり可決された。

平成一八年度予算

一般会計

三三億七、八〇〇万円

特別会計

国民健康保険

六億五、二二八万円

老人保健事業

九億二、七三三万円

介護保険事業

五億七、〇四五万円

育英事業

三、一五五万円

びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理

三〇〇万円

住宅団地造成事業

七、八七〇万円

多賀財産区管理会

一、九〇〇万円

大滝財産区管理会

八、一〇〇万円

下水道事業

六億七、八六九万円

農業集落排水事業

五億三、二三四万円

下水道事業会計

二億三、五〇八万円

人 事

公平委員会委員

土田 清水眞人氏(再任) 八一歳



条 例 改 正

特別職の常勤の者の給与に関する一部改正

町長 七二万九千円を七二万八千円に。

助 役 六二万六千円を六一万七千円に。

収入役 五八万二千円を五七万三千円に。

教育長の給与に関する一部改正

教育長 五八万二千円を五七万三千円に。

町職員の給与に関する一部改正

町職員 五七万三千円に。

条 例

多賀町国民保護対策および緊急対処事態対策本部条例

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき対策本部に必要事項を定めることを目的とする。

多賀町国民保護協議会条例

組織および運営に必要な事項を定めることを目的とする。

調整手当を地域手当に改める。昇給は勤務成績に応じて行う。

議会議員の報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正

議長 二九万六千円を二九万二千円に。

副議長 二二万七千円を二二万四千円に。

常任委員長 一九万三千円を一九万円に。

議員 一八万八千円を一八万五千円に。

規約の改正

湖東広域衛生管理組合規約の一部を改正

共同処理する事務および区域に関して規定の条文を整備して、審査会に関する事務を追加するもの。

議 決

公の施設の指定管理者の指定の議決を求めるもの

川相消防センター

一ノ瀬消防センター

南後谷消防センター

大君ヶ畑ふれあい休憩所

大君ヶ畑林産物体験加工施設

大君ヶ畑林産物販売施設

大君ヶ畑特産品加工施設

大君ヶ畑体育館

大君ヶ畑集会所

落合集会所

おしどりの里
栗栖農業センター
栗栖多目的広場
佐目グラウンド
ふるさと自然広場
中川原草の根ハウス
清涼文化センター
淡海文化創造館
胡宮福祉会館
多賀福祉会館
土田老人憩の家
尼子老人憩の家
多賀町デイサービスセンター
高取山ふれあい公園
多賀町林業会館
森林資源活用センター
佐目多目的集会所
富之尾山村広場
霜ヶ原生活改善センター
富之尾生活改善センター

加交付が認められたため、なお、予算がついたことで、再度履行期限を平成一八年七月三十一日と変更した。
農集排佐目南後谷工区管路工事の変更
契約金額一億四、三〇八万円を一億四、四三九万円に変更(汚水ます追加のため)
農集排佐目工区管路工事の変更
契約金額七、四〇万円を七、八六三万円に変更(真空ステーションの取り付けのため)
平成一七年度補正予算
一般会計
二億七、七〇〇万円追加
歳入の主なもの
地方交付税
一、七六七万円減額
地方特例交付金
二、一四六万円追加
国庫負担金
六、三三四万円追加
国庫補助金
一、五五八万円追加

町債
一億七、八四〇万円追加
歳入の主なもの
児童福祉施設費
一億一、四三四万円追加
学校管理費
一億九、六一〇万円追加
図書館費
一、二六六万円減額
一般会計
国民健康保険
四七万円追加
介護保険事業
二〇一万円追加
下水道事業
二〇万円減額
農業集落排水事業
八〇〇万円減額
水道事業
五〇〇万円追加

町道路線の認定

路線番号 一一四七
路線番号 多賀高宮線
路線番号 一一四八
路線番号 土田四ツ屋線
路線番号 一一四九
路線名 中川原中央線



7月完成予定の滝の宮保育園



指定管理者の指定を受けた高取山ふれあい公園

各委員会 報告

予算特別委員会

三月一日、一三日の二日間、平成一八年度一般会計予算を審査し、賛成多数で可決すべきものとした。

平成一八年度一般会計予算

- 歳入の主なもの
 - 町税 一五億九八八三万円
 - 地方交付税 八億五〇〇〇万円
 - 町債 一億三二二〇〇万円
- 歳出の主なもの
 - 人件費 八億九二〇二万円
 - 物件費 五億七、六三一万円
 - 普通建設事業費 二億四、八四二万円
 - 公債費 五億五、八六八万円

委員会での質疑応答

問 学童保育の状況は。
答 一八年度より大滝小七人、多賀小二四人の入所予定である。指導員は二名体制で運営する。
問 共同作業所の運営については。
答 障害者の自立支援を行うために共同作業所を設置する必要があり、本町には二カ所ある。
 杉の子作業所は社会福祉法人として登録し、障害者自立支援法に基づいたサービス提供事業所として運営している。
 アイ・コラボレーションは小規模な従来型作業所として町の補助金を受け運営している。

問 地方交付税の見込みは。
答 国の交付税総額が5.9%減額されたこと、さらに今日の町税の増収傾向や国勢調査の人口減少などにより、交付税は減少となる見込みである。
問 川相支所の業務内容は。
答 業務のあり方の検討が必要と考えている。
問 猿木地区の子どもたちの通学は。
答 現在、彦根市の学校へ通学している。本町への通学を区長・保護者に呼びかけるとともに、魅力ある学校教育に努め、地元元元へ通いたいと思える教育環境づくりに努める。
問 児童の登下校時の安全対策は。
答 各関係部署で連携を取り進めている。スクールガードとして五三名の方に協力をお願いしている。



芹谷ダムの完成予想図

総務常任委員会

三月一五日、平成一七年度多賀町一般会計補正予算ならびに平成一八年度各特別会計予算を審査し、全員賛成で可決すべきものとした。

平成一七年度多賀町一般会計補正予算

- 主なもの
 - 大滝小、屋内運動場工事費 一億九、五三三万円
 - 滝の宮保育園の建設費 一億一、四三四万円
- 平成一八年度多賀町国民健康保険特別会計予算
 - 六億五、二二八万円
 - 人間ドック診察補助制度を一部改正。
 - 被保険者証を配達証明付きで郵送する事に変更。

委員会での質疑応答

問 多賀中の高校入試の結果は。
答 七六名全員が合格した。
問 介護保険制度の改革は。
答 要支援一から二の人を中心に包括支援センターでケアプランを作成する。今後、在宅支援を強化し、介護予防に努める。
問 一八年度介護保険料は。
答 保険料は三年ごとに見直す年度であり、標準の保険料を三、七六〇円とした。
問 人間ドック受診制度の改定は。
答 町の助成は七割で、限度額を一件当たり三万円とした。彦根市・犬上郡の四医療機関と契約し、事後指導を実施する。



工事が進む町道小森池線



花見を楽しむ福祉サロンの皆さん

閉会中の総務常任委員会

開催日

一八年二月一四日

税務課所管

一七年度町税の概要は、昨年度決算額一五億七、二〇〇万円を上回る見込みで、特に法人町民税の増収に負うところが大きい。国民健康保険税の加入状況は、

国保加入者が減少傾向にある。就職された人の増加によるものと考える。

福祉保健課所管

障害者自立支援法

一七年一月に公布され、新制度は一八年一〇月から始まる。利用者負担については四月からとなり、費用負担は基本的には一割となる。介護保険制度改正 軽度の要介護に対して改善に向けた予防を実施することから、高齢者の

生活を包括的に支援する地域包括支援センターを設置する。

(仮)滝の宮保育園建設事業について

一七・一八年度の二カ年で建設の予定であったが、一八年度予算計上分が国の補正で一七年度予算として認められた。一八年七月完成予定。

教育委員会所管

大滝小、屋内運動場新築工事の補正について

滝の宮保育園と同様に国の補正で一七年度予算として認められた。一八年度に完成予定。

委員会での質疑応答

問 税の収納率は。

答 一六年度収納率は98%で、県下四位である。

問 住宅耐震改修に伴う固定資産税の減免措置とは。

答 工事費三〇万円で改修した場合、改修家屋に係る税の二分の一を減額する制度である。



大滝小プール撤去跡地に建設予定の屋内運動場

産業建設常任委員会

三月一六日、平成一七年度多賀町一般会計補正予算、平成一七年度各特別会計補正予算、平成一八年度各特別会計予算などを審査し、全員賛成で可決すべきものとした。

平成一七年度多賀町一般会計補正予算

主なもの

除雪費追加 一、二九〇万円

農業振興費減額

二六六万円

平成一七年度下水道事業特別会計補正予算

川相地区上水道管布設替工事費(一八年度に繰越) 九四一〇万円

平成一七年度農業集落排水事業特別会計補正予算

上水道管移転補償金減額 七〇〇万円

事業費(一八年度に繰越) 一億六、一三六万円

平成一七年度水道事業会計補正予算

給水収益増額 五〇〇万円

平成一八年度下水道事業特別会計予算

六億七、八六九万円

歳入の主なもの
国庫支出金 五、四〇〇万円

使用料

一億八、九二〇万円

一般会計より 一億五、九九九万円

歳入の主なもの

町債 一億四、六二〇万円

維持管理費 一億二、九四四万円

流域下水道維持管理負担金 一億一、一三二万円

川相・一ノ瀬地区工事費 一億九、二三〇万円

公債費のうち元金返済 一億五、三三四万円

利息 一億八八三万円



佐目地区の農業集落排水工事

委員会での質疑応答

問 今冬の豪雪による影響は。

答 除雪費が当初予算の四倍になっている。その他権現谷橋梁工事、下水道工事、農集排水工事に遅れが生じている。

問 農業集落排水事業の供用開始時期は。

答 本格供用は、菅原地区は二〇年から、佐目・南後谷地区は二一年から。

問 水道事業の水質検査料が高額であるがどうか。

答 国の検査項目が多岐にわたっており、安心安全のために必要である。

閉会中の産業建設常任委員会

開催日

一八年二月二日

農林商工課所管

むらづくり維新森林・山林・都市共生事業

間伐材の搬出・利用や木質バイオマス資源として循環利用を図るため、大滝山林組合が事業実施

総事業費四、八八〇万円(町負担額五四四万円を一七年九月定例会で補正予算計上済)

金屋頭首工工事

犬上川沿岸土地改良区利水のための渠営工事で、一四年度着工、一九年度完了予定。

工事費総額

一一〇億五、〇〇〇万円

建設課所管

町道路線の認定予定

多賀高宮線

起点 多賀桜町七二一
終点 敏満寺犬掛ケ
延長 一五七一

現在では県道として認定
土田四ツ屋線

起点 土田上南代
延長 四一三

現在では県道として認定
多賀四ツ屋町

延長 五五五m
現在では県道として認定
中川原中央線

起点 中川原西出
延長 一一六

終点 中川原西出
延長 一一一

延長 一〇六m

歳入の主なもの
国庫支出金 五、四〇〇万円

使用料

一億八、九二〇万円

一般会計より 一億五、九九九万円

歳入の主なもの

町債 一億四、六二〇万円

維持管理費 一億二、九四四万円

流域下水道維持管理負担金 一億一、一三二万円

川相・一ノ瀬地区工事費 一億九、二三〇万円

公債費のうち元金返済 一億五、三三四万円

利息 一億八八三万円

委員会での質疑応答

問 ベレット製造の材料は端材のチップを利用できないか。

答 利用できるのは、おがくずと鉋くずのみである。

問 多賀区内の融雪装置を四ツ屋方面に延長し、堂中自転車で終わらずに岡山団地入口の坂道まで延ばす事はできないか。

答 水源の問題等も発生するが、県に要望する。

問 多賀高宮線については、県道と町道との呼称が重複するの。

答 一定期間重複するが、県道が上位であり、県が維持管理するもので、尼子区間については、改良すべき箇所があり、改修工事が完了した時点で県道認定を外し町道とするものである。

平成一八年度農業集落排水事業特別会計予算

五億三、二三四万円

歳入の主なもの

国庫交付金 一億四、九九七万円

県補助金 八、二四七万円

加入者分担金 二、三二六万円
一般会計より 一、二二五万円

町債 一億六、二七〇万円

歳入の主なもの
菅原・佐目管路工事費 一億七、七七五万円

処理施設建設費 二億八、六五五万円

実施設計料 二、〇五六万円

町債の利息 八三四万円

平成一八年度水道事業会計予算

収益的収入および支出額 一億三、五〇八万円

収入の主なもの
給水収益 二億八八八万円

支出の主なもの
原水浄水費 三、八二五万円

配給水費 二、八一一万円

受託給水工事費 一、五三二万円

総務費 五、三三四万円
減価償却費 八、一五六万円

資本的収入総額 五、三三七六万円

収入の主なもの
工事負担金 二、八七一万円

町債 二、五〇〇万円

資本的支出総額 一億三、一〇五万円

支出の主なもの
水道改良費 九、八三九万円

町債償還金 三、二六五万円

資本的支出額に対し不足する七、七二八万円は、消費税資本的収支調整額損



町道中川原中央線建設予定地



外町交差点の渋滞対策は バイパス案で具体的検討 に入っている

野村 吉晴 議員

—建設課長—

外町交差点周辺の渋滞解消対策について、三つの案が検討され、彦根インター人口交差点、旧セメント工場敷地内横断、古沢町交差点までを県道としてバイパス案が最適であると決定され、具体的に検討に入っている。

建設課長

野村議員

国道三〇六号外町交差点、朝夕ともに多賀町に關係する車が大半かと思われるが、渋滞緩和策として県道でバイパスを計画されているが今後の計画を問う。

町長

新規事業を極力抑え、高齢者や障害者に対する施策、地域防災計画の見直し、国民保護計画の策定、各公共施設の耐震診断、子どもの安全対策など町民の安全、安心を重視した予算配分にした。

野村議員

交付税の減額等本町の財政環境は厳しくなり、限られた財源で町民福祉の向上等必要とされる施策には的確に対応してほしいが、一八年度当初予算編成に対し何を重点施策としているのか。

一八年度重点施策は 安全、安心をキーワードに 予算配分

—町長—



渋滞する 306 号線

集中改革プランの策定を 三月末までに策定する

—町長—

地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針が示された。本町においても、集中改革プランを策定し昨年九月議会で推進すると表明されたが、具体的にどのような取り組みをされるのか問う。

町長

町が独自で策定した行政改革大綱をベースに、事務事業の見直しや職員の定員管理、給与の適正化、職員の能力開発等の推進、行政の情報化の推進、など目標を掲げ、三月末までに策定する。

議会を傍聴
して下さい

次回は
6月中旬
予定です。

町政の
ここが
ききたい

一

般

質

問

臨時議会

4月4日開催



議長に選任
議長 安藤 直毅

歴史と伝統ある多賀町議会議長にご推挙賜り、光栄に思っており、責任の重さを感じております。気持ちを新たに町

民の付託に応えるよう主体的で活発な議会運営に誠心誠意努める所存です。多賀町として自立・独自性をもった町づくりに取り組んでいる状況であり、地域経済の再生と少子高齢化の進展は、大きな課題であります。

今後の打開策として、福祉等個別の施策でなく、横断的な対応策が求められます。

中心市街地活性化に取り組み、門前町の姿は徐々に様変わりしてきました。地域特産品開発や、創業者の誕生、高齢者の活用等波及効果のある可能性が見えてきました。

今後はあらゆる施策事業が横断的に取り組まれ相乗効果と費用対効果の高さが求められるところです。

そのためには行政職員意識改革が重要であり高い能力を期待するものです。議会もより研鑽を積み

住みよい町づくりに努力する所存です。今後共より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

推せん

人権擁護委員

一ノ瀬 大道 英昭氏(再) 六五歳



条例改正

多賀町公害対策審議会設置条例の一部改正
第七条中「企画課」を「環境生活課」に改める。

新役職を決定

議長	安藤 直毅	ダム建設対策特別委員会 委員長	深田 治夫	彦根市犬上郡営林組合 議員	山口 久男
副議長	木村 晴彦	委員長	野村 吉晴	議員	野村 吉晴
監査委員会 委員(再)多林 徳三	委員長	久保 久良	木村 晴彦	議員	深田 治夫
総務常任委員会 委員長	土田 雅孝	委員長	谷川 利治	議員	辻 孝太郎
副委員長	野村 吉晴	副委員長	飯尾淳一郎	議員	飯尾淳一郎
委員	谷川 利治	委員	山口 久男	議員	木村 晴彦
委員	山口 久男	委員	木村 晴彦	議員	安藤 直毅
産業建設常任委員会 委員長	飯尾淳一郎	副委員長	久保 久良	委員	谷川 利治
副委員長	久保 久良	委員	野村 吉晴	委員	野村 吉晴
委員	辻 孝太郎	委員	土田 雅孝	委員	谷川 利治
委員	多林 徳三	委員	土田 雅孝	委員	谷川 利治
委員	深田 治夫	委員	飯尾淳一郎	委員	飯尾淳一郎
委員	木村 晴彦	委員	木村 晴彦	委員	飯尾淳一郎
議会運営委員会 委員長	多林 徳三	副委員長	谷川 利治	委員	野村 吉晴
副委員長	谷川 利治	委員	久保 久良	委員	野村 吉晴
委員	土田 雅孝	委員	野村 吉晴	委員	野村 吉晴
委員	飯尾淳一郎	委員	木村 晴彦	委員	野村 吉晴
委員	深田 治夫	委員	安藤 直毅	委員	野村 吉晴
公害対策審議会 委員	野村 吉晴	委員	谷川 利治	委員	野村 吉晴
都市計画審議会 委員	辻 孝太郎	委員	飯尾淳一郎	委員	野村 吉晴
公共下水道事業審議会 委員	久保 久良	委員	野村 吉晴	委員	野村 吉晴
農業委員会 委員	深田 治夫	委員	木村 晴彦	委員	野村 吉晴
彦根休日急病診療所運営委員会 委員	土田 雅孝	委員	木村 晴彦	委員	野村 吉晴

期末手当の減額はなぜか 厳しい財政状況に配慮

—町長—

谷川議員
報酬審議会の答申を受けて、一、五%の減額をしているが、同時に期末手当の一〇%を減額する理由はなにか。

町長
給料月額の変更は、特別報酬審議会の答申を尊重したいと考え、一、五%の減額を計るものである。

期末手当の改定は、厳しい財政状況に対する人件費の削減を配慮し、時限をもって一〇%の削減をするものである。

減額ときは町長の 独自の判断を

判断は難しい

—町長—

谷川議員
答申の額が、低額である時は町長独自の判断で大幅な減額を実行しても答申を無視することにはならないと考えるがどうか。

町長
答申以上の減額が答申を尊重しないこととなるか否かは、判断が難しい。今回の答申は、今日にふさわしい時価として示されたと考えている。

少人数学習で効果は 成果を踏まえ着実な 学力の向上を目指す

—教育長—

久保 久良 議員

久保議員
少人数学習は、多賀小の四年生から六年生まで算数で、多賀中の全学年で数学と英語で実施されている。一七年度、中学生を対象に全国一斉学力テストが実施された。少人数学習の導入が、この学力テストで成果となつてあらわれたのか。そのことを含めて、少人数学習でどのような効果があったのか。

教育長
多賀小と多賀中で八年度より少人数学習を導入している。多賀小での成果については意欲的に取り組む児童が増えてきたことなど、着実に成果が見られる。学習中の基本的な規律等も身につけてきている。
多賀中では、今年度全国統一テストに参加した。数学では、二、三年生で五点から八点以上全国平均を上回っており、少人数指導の成果を含む生徒の努力によるものと受けとめている。



大滝小の木の学習机



谷川 利治 議員

少子化に歯止めを

次世代育成行動計画により 各種施策に取り組み

—町長—

久保議員
今までの子育て支援や若者定住化などの少子化対策が、一八年度予算に提示されているか。
また、懇談の場を設けるなど、若い世代の声を生かした施策を進める考えはあるか。

町長
児童手当の小学校終了までの拡大、学童保育での母子家庭の保育料の軽減などを実施する。
あらゆる角度から検討を重ね、子どもを生ま育てやすい環境づくりに努めたい。

障害者自立支援に 町独自の助成を 県の動向を見て検討する

—福祉保健課長—

山口議員
障害者自立支援法が四月一日から実施され、食費と居住費は原則全額負担となる。

これは所得に応じて負担するという応能負担原則を崩し、利用したサービス量に応じて負担するとした応益負担になる。障害者が人間として当たり前の生活をするために、必要以上の負担を課すもので福祉の理念に反する。障害者の負担軽減のため町独自の助成をすべきだ。

福祉保健課長
過大な負担とならないよう軽減措置も設けられている。
町独自の助成は、県の動向を見きわめ検討したい。

保育サービスの拡充を 保育士は適正に配置

—福祉保健課長—

山口議員
多賀ささゆり保育園は、ゆとりある保育サービス確保のため、保育士を増員すべきだ。
滝の宮保育園、延長保育等サービスの拡充を。
広い通園区域で、送迎にかかる保護者の負担も大きい、通園バスの運行を検討すべきだ。

福祉保健課長
ささゆり保育園での職員数については、入所児童の年齢および数に応じて適正に配置している。
滝の宮保育園は、多様な保育ニーズにこたえられるよう検討する。
定刻での通園バスの運行は保育園の状況になじまない。

保育所予算が前年度から減らされているが、重点配分の考えは、どうですか。

法の趣旨や省令を遵守して予算計上し運営を図っていく。

多賀小、多賀中へ木の 学習机導入の考えは 耐震化を先行したい

—教育長—

久保議員
大滝小に一一〇組の学習机が導入され、木の香りとぬくもりが子どもたちにも好評である。
多賀小、多賀中への導入の考えは、

教育長
校舎の耐震化対策や付帯施設の整備を先行し、財政状況を勘案しながら導入を検討したい。



山口 久男 議員



保育園送迎風景



田中 たつさん 93才 多賀

今なにしているって、多賀野菜売場の店番してるんやがな！

三、四軒の農家の人が朝持ち込んできやる新鮮な野菜を売ってるんよ！朝八時すぎから、五時頃まで店番してるんよ。

元気の秘訣って、別にこれといって無いけど、毎日夕飯は、ご飯のかわりに温いお酒をチョボットいただくの、うんちょポットだけやけどこれが楽しみなんよ。

うん、お釣りもまちがえへんで、仕事してると

頭もボケへんなあ。

夜は八時までに寝てな、夜中の一時から、新聞のチラシ入れを手伝ってるんよ、これでな、お金もろうてひ孫に小遣いやるのが又楽しいてなあ。

二三才で結婚したけど、初恋の人もいてなあ。こないだまたまたま、その人の息子さんがきてくれて嬉しかったわあ、その頃のこと思い出して、胸がキューとなつてもたー。

まだまだ店番がんばるよー、おたくらもガンバリやー。

がんばっています！



小菅 義秀さん 60才 猿木

私は五三才で脱サラ、専業農家になりました。水田の他に、県・町の補助を受けてハウス栽培をはじめました。初めはホーレン草を二年間やりましたが、イチゴ栽培に切り替えました。現在の品種は、章姫で甘味、大粒で粒揃いもよく好評です。販売は主にJAさんを通じて、近隣のスーパーで売られています。直接買いに来てくださる方もおられ喜んでます。栽培上の問題もありますが、JA等の指導を受けて解決しています。県の「こだわりの農産物」の指定もいずれ受けようと思っています。今年新しい方法でトマトを栽培しようと考えています。何もかも一人でやっているので、これ以上規模は大きくできませんが、実りの喜びを実感できて幸せです。

編集後記

町の一八年度予算も可決成立しました。一七年度より四億二千万円(一一、二%)の減額となりました。国の財政状況は、相変わらずで今後も地方交付税等減額が予想され厳しい町財政の運営が続きます。市町合併論議も一休憩の感があります。多賀町のこれからは真剣に考えなければならぬ重要な時であります。四月四日の臨時議会で議長以下の役職変更がありました。九歳若返った新議長の下で新鮮な議会運営を期待するものです。広報委員も一部交替しました。皆様により多く読んでいただける紙面づくりに励んでいく所存です。ご意見等いただければ幸いです。

谷川利治記